

〈コンセプト〉

Bring up House (育む家)



～親子ともに成長できる住まいを目指して～

近年、共働き世帯の増加が進んでおり、平成26年には60%以上が夫婦共働きの世帯となっています。共働き世帯の悩みの1つに家事と仕事の両立があると思われます。今回のクラフトコンテストのテーマである子育て世代も共働きの世帯が増えており、子育ての悩みの中にも家事と仕事の両立がはいつています。子育て世代を応援する“Bring up House”をコンセプトに家事や育児の悩みを減らし、親子ともに成長できる住宅を考えました。また、ZEH（ネット・ゼロエネルギーハウス）にすることによって光熱費を削減し、子育て悩みランキングにもはいつているお金の心配に対しても手助けできる住宅になっています。

間取りへのこだわり

家事や育児にストレスを感じず“Bring up”できるよう家事スペースからの動線に重点をおき設計しました。また、乳児の時から学生までお子様の成長に合わせた使い勝手の良い、自由の利く間取りにしました。詳しくは次のページでご紹介いたします。

水へのこだわり

家中が浄水になる、オール浄水システムのANOVAを採用しています。塩素による肌荒れやアレルギーなどの健康被害や独特のカルキ臭をオール浄水システムで防ぎます。家庭で使う水の約7割が直接肌に触れる水ですので、デリケートな肌の小さなお子様や水を使う機会の多い家事を安心して使用いただけます。



共働きと専業主婦の割合 (非労働力人口を除く)

- ・ 夫婦共働き世帯 : 60.9%
 - ・ 夫が働く (専業主婦) 世帯 : 33.2%
 - ・ 妻が働く (専業主夫) 世帯 : 5.2%
 - ・ 夫婦とも無職世帯 : 0.6%
- (よい家計調べ : H26年平均)

子育ての悩みランキング

- 1位 : 自分の時間がない
- 2位 : 夜泣きや睡眠不足によるストレス
- 3位 : 家事や仕事との両立ができない
- 4位 : 子供の叱り方がわからない
- 5位 : 子供の将来やお金が心配

(IKU LOVE調べ)

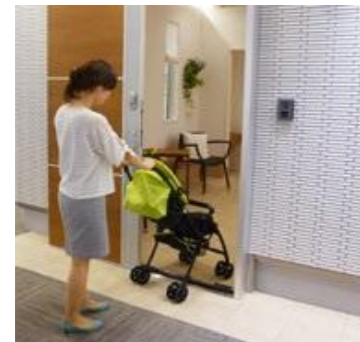


Bring up ポイントは次のページへ→

7つの"Bring up"ポイント

1 タイル張りテラス

テラスを洗面脱衣室に設けることによってスムーズに洗濯物を干すことができるので作業効率アップにつながります。



2 玄関引き戸&マルチクローク

玄関ドアを引き戸にすることによって荷物を持っている時やベビーカーなどの出入りがスムーズに行え、マルチクロークにそのままベビーカーなどを収納することができます。

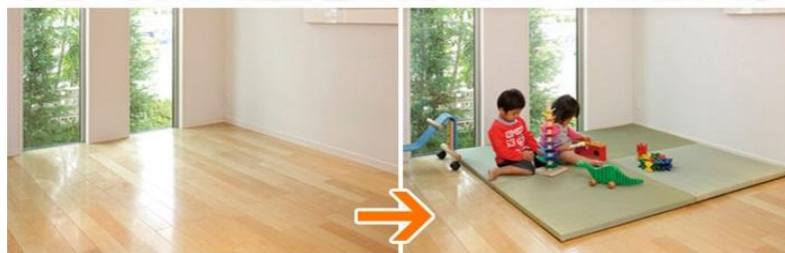
3 スロープ

玄関までスロープを利用できるのでベビーカーや自転車などの運び込みがラクになります。



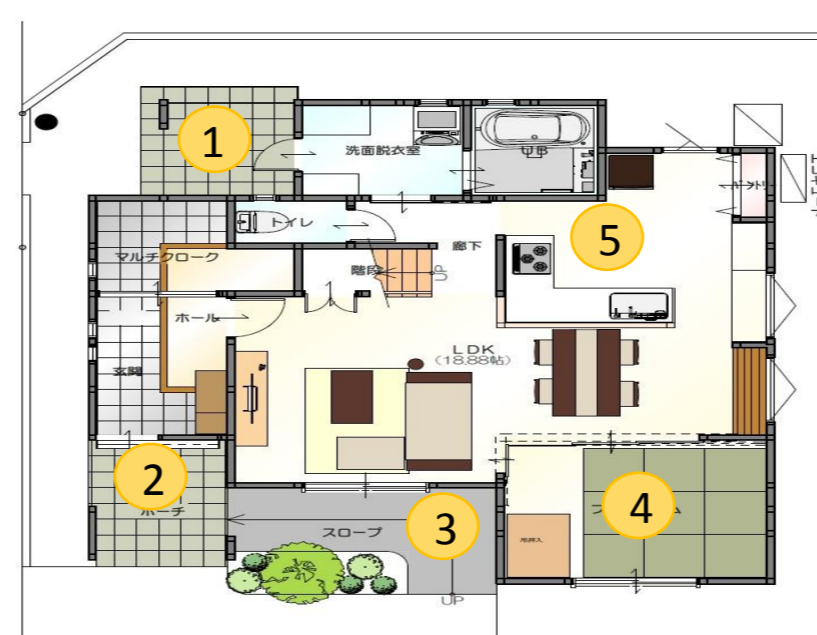
4 フリールーム

置きたたみを敷き和室として利用。
置きたたみを吊押し下部に収納し洋室として利用。
引き戸をオープンにして広々としたLDKとして利用。
以上の3タイプの使用方法が家族形態の変化に対応できます。



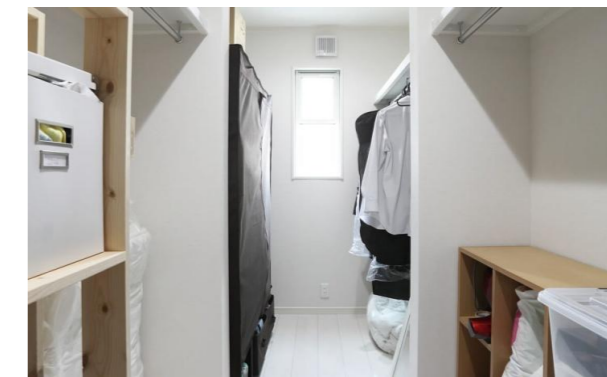
5 L型キッチン

シンク、IH、冷蔵庫といった"ワークトライアングル"が形成される、作業効率が良いL型キッチンを使用。また、キッチン周辺にパントリー、カップボード、洗面脱衣室があるため家事導線が整っており、カウンターも隣接しているので、お子様の勉強の手伝いなど、育児にも手が届きます。



6 ファミリークローク

大型のクローゼットを廊下に設けることで家族みんなが利用でき、共有で使用するものの収納やお子様用のクローゼットとして利用できます。



7 ロフト

収納スペースとして使用すれば部屋がすっきりします。また、天井が高いため開放感があり、お子様がのびのびと暮らすことができます。

